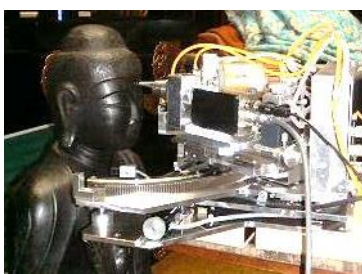
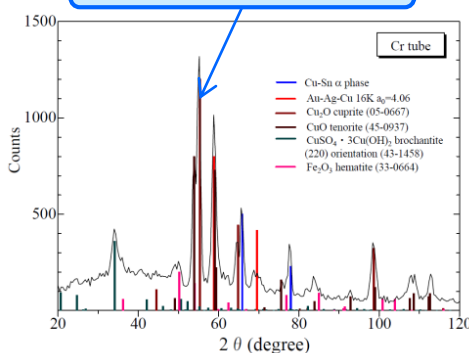


金銅仏の表面分析に



深大寺釈迦如来像の
表面分析の様子

CuOの回折線を検出！



黒っぽい古い金銅仏の表面は、通例として酸化第一銅(Cu₂O)に覆われている場合が殆どですが、本像のように【火災に遭った】経緯の報告がある仏像は酸化第二銅(CuO)で覆われている場合があります。移動ができない金銅仏の表面分析・化合物同定に、可搬型複合X線分析装置(XRD+XRF) DF-01 が有用です。DF-01は金銅仏を移動せず、その場で非破壊・非接触に分析を行い、対象物表面の化合物の組成を測定できます(写真は、国宝に指定された深大寺釈迦如来像(白鳳仏)を2006年に測定した様子)。

DF-01をご使用いただくことにより、日本古代金属学の重要な情報収集のサポートをいたします。

可搬型複合X線分析装置
(XRD+XRF)

Model : **DF-01**



ここがポイント！

- **XRD・XRF 2種類の分析を同一ポイントで可能**
→ サンプル移動等の煩雑な作業は不要です。
- **非破壊・非接触で可搬型**
→ 大型、かつ異形の測定対象物を動かさずに測定可能です。歴史的建造物でもそばで測定できます。

理研計器株式会社

【営業本部】

〒174-8744

東京都板橋区小豆沢2-7-6

TEL: 03-3966-1111

詳しい内容はお近くの営業所まで

<https://www.rikenkeiki.co.jp/>